



## 米子市埋蔵文化財センターたより



第42号

2021年9月

ふくながし  
日野町福長下モノ原遺跡

—製鉄炉跡を発見—



製鉄炉跡の地下構造と石囲い

福長下モノ原遺跡は、日野郡日野町福長に所在し、日野川の支流である印賀川下流左岸の標高 290 mの河岸段丘に立地しています。

調査の結果、中世の製鉄炉 1 基、排滓土坑 1 基、製鉄の際に生じた不純物を廃棄した排滓場 2 ヶ所を検出しました。

製鉄炉は、後世の水田耕作によって製鉄炉の本体は削られて失われていましたが、その下の地下構造を検出しました。地下構造上面、長さ 4.2m、幅 0.9m、深さ 15~20cm の長方形で、中には地中からの湿気を防ぎ、炉内を高温に保つために粉状の炭が敷き詰められていました。また、製鉄炉の西側には長さ 3.3m、幅 1.4mの長形状に、東側にはコ字状に石が並べられていました。このように製鉄炉の両側に石を並べた例はこれまで確認されておらず、製鉄炉に空気を送る送風管である鞆（ふいご）の土台（鞆座）の裾部に石を並べていたと考えられます。

日野郡では、古代末から近代にかけて製鉄が盛んに行われ、一大工業地帯を形成していました。これまで、近世から近代にかけての製鉄遺跡については発掘調査が数例ありますが、日野郡における中世の製鉄遺跡の本格的な発掘調査例は、本調査が初めてであり、今回の調査の成果は、日野郡における中世の製鉄の様相を窺ううえでは極めて貴重な発見資料といえます。

なお、9月9日から9月11日にかけて開催しました遺跡の見学会には、県内外から90名の参加者がありました。（高橋）

## 発掘調査情報

### －米子城跡三の丸の確認調査 整美な水路発見！－

4月から発掘調査を行っている米子城跡三の丸の発掘調査は、幕末の絵図に描かれた米蔵の建物基礎と、それよりも古い時期に造られた石敷の水路を見つけることができました。

石敷の水路は、幅 80 cm、深さ 30 cmで、長さは 20m 以上あります。水路の底面は、青い石を薄く割ってタイル状に敷き詰められており、一見して特別な施設であることがわかります。

江戸時代の絵図には、米蔵の西側に「空き家敷」や「一学屋敷」といった表記が見られることから、屋敷を区画する水路と推測されます。年代的には、江戸初期まで遡る可能性があることから、重要な発見となりました。(文化振興課・佐伯)



発見された整美な水路

## 整理室たより

### 博労町遺跡第2次調査出土遺物の整理 —洗浄・記名・接合・実測作業—

埋蔵文化財センターでは、博労町遺跡の第2次調査の洗浄～実測や、遺構図作成などの基本整理を行っています。

中近世の畠の遺構からは、ほとんど遺物は出土しませんが、古墳時代の竪穴建物や土坑、井戸から大量の土器が出土しており、整理に追われています。砂層出土なので、あまり風化しておらず器面の調整痕がよく残っています。

主なものは、古墳時代初頭から前期の土師器で甕を主体に、壺、高坏、低脚坏、器台などです。

年度末の報告書刊行に向けて、整理員は大忙しです。(小原)



遺物の洗浄作業

## 遺跡シリーズ 茶畑遺跡群 (ちゃばたいせきぐん)

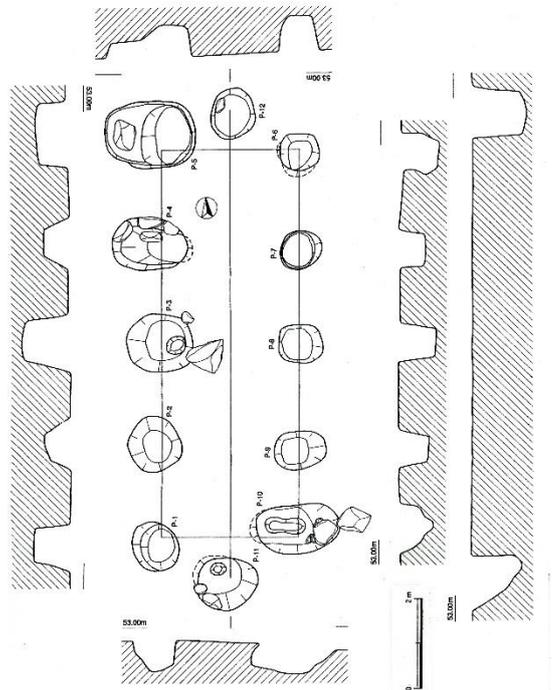
茶畑遺跡群は、西伯郡大山町(旧名和町)名和字茶畑から押平に所在する7カ所の遺跡からなっています。

ここは大山北麓の標高50～60mの丘陵地と扇状地が広がる一帯です。

1972(昭和47)年の広域農道の建設に伴う茶畑遺跡の調査を皮切りに、1997(平成9)年に圃場整備に伴い茶畑山道遺跡、2000(平成12)年～2005(平成17)年に山陰自動車道名和道路に伴い茶畑六反田遺跡、茶畑第1遺跡などが調査されました。

遺跡群の時期は弥生時代中期中葉～後期後半の時期で、竪穴建物跡と掘立柱建物跡で構成される集落遺跡群です。

遺跡からは線刻の絵画土器や分銅形土製品などの祭祀遺物と、独立棟持柱や布掘の掘立柱建物跡が見つかっています。中でも茶畑山道遺跡の弥生時代中期の独立棟持柱建物跡は柱穴の掘方が1m強ある大型の建物跡で特異な建物として注目されました。(小原)



茶畑山道遺跡の独立棟持柱建物跡

(茶畑山道遺跡 1999 名和町教委より)

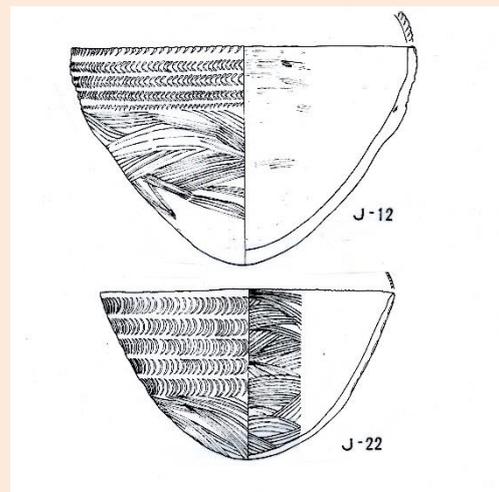
### コラム 発掘された遺物②

### —縄文時代前期の土器—

縄文時代前期は、約7千年前から5千5百年前と考えられています。

山陰の前期土器は、条痕地文、縄文地文を付ける長山馬籠式土器、押引沈線文等をつける西川津式土器、爪形文等が特色の羽島下層式土器と呼ばれる丸底の鉢形で、早期の土器より薄手で整地なものが多くなります。特に前期後半になると器形がキャリパー形で、縄文地に凸帯を貝の背の押圧文で飾ったりした華麗な土器が出現します。

米子では、陰田第9遺跡、目久美遺跡、鮎ヶ口遺跡が代表的な遺跡です。(小原)



目久美遺跡の前期の縄文土器図

## センター・資料館日誌

- 8月6日（金）初任者研修で出土品の整理体験で教員3名来館。
- 8月19日（木）上淀白鳳の丘展示館の井上学芸員が借用遺物の調査で来館。
- 8月24日（火）荒神谷博物館の西村学芸員が尾高浅山遺跡の土器調査で来館。
- 8月25日（水）～27日（金）南山大学の中尾准教授が人骨調査で来館。
- 9月1日（水）鳥取県立博物館福代学芸員が白山経筒調査で来館。
- 9月8日（水）因幡万葉歴史館の学芸員が借用資料の返却で来館。
- 9月9日（木）～11日（土）日野町福長下モノ原遺跡の現地見学会開催。



- 9月12日（日）米子城跡三の丸発掘調査の現地説明会が開催された。
- 9月15日（水）上淀白鳳の丘展示館の井上学芸員が遺物借用で来館。
- 9月19日（日）江美城跡ガイドウォークを開催した。



- 9月23日（木）～26日（日）上淀廃寺跡で「彼岸花祭り」開催された。



- 9月28日（火）荒神谷博物館学芸員が尾高浅山遺跡の土器借用で来館。

## 行事案内

—福市考古資料館企画展—

### 「発掘で解った米子城」

最近の調査で解ってきた米子城の遺構や遺物を展示解説しています。

開催期間 令和3年9月29日（水）

～11月29日（月）

観覧料 無料



米子城跡登り石垣

## 編集後記

朝晩の涼しさに夏の暑さを忘れる秋になりました。あの暑さはどこへ行ったのでしょうか。

発行日 令和3年9月30日

発行者 米子市埋蔵文化財センター

指定管理者（一財）米子市文化財団

電話 0859-26-0455

Eメール yonagomaibun@clear.ocn.ne.jp